

教えて 国土交通省!

国土交通省に寄せられた、普段の生活で感じたふとした疑問や質問などを紹介するコーナーです。

気象庁の担当者に聞きました。

Q 「雷が近づいていることを簡単に知るには?」

息子のサッカーの練習は雷が鳴ると中止になります。雷が近づいていることを簡単に知る方法がありますか? 校庭の木の下に避難するのは危険ですか?(千葉県・主婦)

A 気象庁では、雷の激しさや発生の可能性を解析し1時間先まで予測する「雷ナウキャスト」を提供しています。携帯電話からも簡単に見ることができますので、是非ご活用ください。

また、外で活動される場合には事前に雷注意報や気象情報を確認することをお勧めします。

なお、雷は夏に起きるイメージがありますが、日本海側の地方では冬に多く発生します。日本海側はこれからが雷の季節ですから注意しましょう。

パソコンでのご確認はこちらから

●雷ナウキャスト

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

●注意報・警報のHP

<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

携帯電話はこちらから



出かける前にチェックしよう!



気象庁マスコットキャラクターはれるん

雷から身を守るには

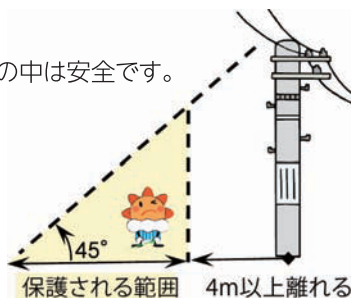
雷は、グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所、山頂や尾根などの高いところでは、人に落雷しやすくなります。雷鳴が聞こえたり、雷雲が近づく様子があるときは、できるだけ早く安全な場所に避難してください。

〈安全な場所〉

鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、列車の中は安全です。

—近くに安全な空間が無い場合—

電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れてしゃがんでいれば比較的安全です。



〈危険な場所〉

高い木の下は非常に危険です。高い木のそばにいますと、その木に落雷があったとき木の幹や枝から人体へ雷がとび移る「側撃」を受けることがあります。高い木からは離れて、安全な場所に避難してください。

(日本大気電気学会冊子を参考に作成)

国土政策局の担当者に聞きました。

Q 「『新しい公共』って何?」

大学進学の前にNPOやボランティア活動に参加したいと考えています。「新しい公共」という言葉を耳にしましたが、どのような活動か教えてください。(東京都・高3)

「従来の公共」の活動領域



これから

「新しい公共」の活動領域



A 近年の人口減少や高齢化により、医療、福祉などの社会的サービスを行政が提供し続けることが困難となってきています。その一方で従来以上にきめ細かな対応も必要となるなど、さまざまな課題が生じています。

そこで、行政、市民、NPO、企業などが協働して、積極的に社会的サービスの提供主体となる

「新しい公共」の考え方による活動が必要になってきました。活動は、教育や子育て、まちづくり、介護や福祉など多様な分野で行われています。

具体的な活動内容として、まちの活性化を目的とした地域ブランドの創出、衰退する地域コミュニティの維持に向けた交流会やワークショップ、伝統を継承するための体験学習などがあります。

国土交通省では、上記のような「新しい公共」の考え方による地域づくりを推進しています。

国土交通省における取り組みの詳細はこちら

<http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/aratana-kou/index.html>